

## 事業実績書

事業名		ふるさとの川と森を守れ！灰塚川「千年の森」づくり
場所		沼津市 大平地内
期間		平成28年 7月15日 ～ 平成29年 3月31日
	日程	実施項目・作業項目
事業内容	8/13 (土)	<p><u>1. 灰塚川「千年の森」づくり(既存植樹地の下草刈り、清掃活動等)</u></p> <p>河畔林再生ワンデイチャレンジ・植樹地整備・観察会等の実施予定区域、及び既存植樹地を対象に、下草刈り、伐採竹の運搬、集積、清掃活動などの準備作業を実施した。</p> <p>学生、インストラクター等延べ <u>35名</u>が参加した。</p>
	8/14 (日)	
	10/13 (木)	<p><u>2. 灰塚川自然観察会(説明会の実施)</u></p> <p>(1) 沼津市大平地区連合自治会との連携</p> <p>沼津市大平地区連合自治会を訪問し、同会会長との打合せを行った(参加者:連合自治会・下山会長、沼津市企画部・八重島主事、グラウンドワーク三島・渡辺専務理事、事務局2名)。その結果、灰塚川における今後の環境保全・整備において、同自治会の協力を得ることの了承を得た。</p> <p>また、10/25 に開催される、地区長会において、灰塚川の自然環境の復元・保全に関する説明会を開催する了承を得た。</p>
	10/25 (火)	<p>(2) <u>自然環境保全説明会の実施</u></p> <p>渡辺専務理事が、灰塚川の自然環境保全整備の重要性、および当事業の実施内容等に関する説明会を行った。大平地区連合会の地区長など約50名がこれに参加した。質疑応答においては、竹林の伐採の必要性、環境整備の手法等についての質問が相次いだ。</p> <p>また、11/20 実施予定のワンデイチャレンジへの各地区長等の積極参加の了解を得た。</p>



3. 灰塚川河畔林再生ワンデイチャレンジ

11/20  
(日)  
8:00  
～  
10:00

大平地区住民参加の下に行う「灰塚川河畔林再生ワンデイチャレンジ」を企画、実施した。実施にあたっては、参加者募集のチラシ 800 枚を作成して同地区および公共機関等に配布するとともに、報道関係者等にも周知した。実施当日は、大平地区住民のみならず、沼津市の他地区住民の参加も促した結果、約 20 名の当日参加者があり、スタッフ、インストラクターを加えた約 30 名が、河畔の放置竹林の伐採・清掃活動を参加者ともに行った。



4. 植樹地造成工事

12/3  
(土)  
～  
2/2  
(木)

灰塚川植樹地の造成工事を延べ 4 日間実施した。実施場所は、11/20 のワンデイチャレンジ時の竹林伐採箇所を中心とした。草刈機・チェーンソー等の機械による竹伐採、竹等の根の抜根、埋戻し、整地を行い、最終的に、約 150 m<sup>2</sup>(約 5m × 30m) の自然堤防を造成した。掘削に伴い表出したゴミも撤去した。

一連の作業は、作業スタッフ延べ 20 名で対応した。なお、11/20 のワンデイチャレンジ時に伐採した竹材は、造成工事にあわせ、竹チップパー(竹碎破機)を用いてチップ化し、土壌改良用の肥料として造成地に散布した。



5. 灰塚川自然観察会(野鳥観察会)

3/11  
(土)  
10:00  
～  
15:00

鳥類の専門家である、日本野鳥の会東富士副代表の滝道雄氏を講師に招き、灰塚川の河畔を歩きながら、野鳥を観察する「野鳥観察会」を実施した。

参加者募集にあたっては、「広報ぬまづ」2/15 号への掲載、募集チラシ 400 枚の大平地区の各戸や公共機関等への配布、報道依頼等を実施した。



その結果、沼津市民を中心に、スタッフ、インストラクターを合わせて約 30 名の参加を得た。

当日は、講師の指導のもと、灰塚川と狩野川周辺の野鳥を観察し、およそ 23 種類の野鳥が観察できた（希少種のカワセミ、チョウゲンボウを含む）。

6. 灰塚川「千年の森」づくり（植樹体験会）、灰塚川自然観察会（ボート観察会）

3/25  
(土)  
10:00  
～  
12:00

灰塚川左岸において、午前に植樹体験会、午後にボート観察会を実施した。

参加者募集にあたっては、募集チラシ 400 枚の大平地区各戸や公共機関等への配布、報道依頼等を実施した。

午前中は、沼津市民、スタッフ、インストラクター等 15 名が参加し、灰塚川左岸の清掃活動と、本事業での造成地において、エノキ・ケヤキ等の潜在自然植生の苗木 150 本を植樹した。

午後は、灰塚川左岸を発着点として、ボート操作の指導者として遊水匠の会の安藤英彰氏を招聘し、参加者、スタッフ、インストラクター 10 名が参加し、6 人乗ゴムボート上からの河畔林観察会を開催した。



実施項目	作業項目（実施月日）	参加人数	
		計画	実績
1. 灰塚川自然観察会	沼津市大平地区連合自治会との連携（10/13）	50	5
	自然環境保全説明会（10/25）		50
	野鳥観察会（3/11 午後）		30
	ボートからの河畔林観察会（3/25 午後）		10
2. 灰塚川河畔林再生ワンデイチャレンジ	河畔の放置竹林の伐採、清掃活動（11/20）	30	30
3. 植樹造成工事	竹伐採、抜根、埋戻し、整地、自然堤防造成、竹チップ化・散布、ゴミ処理（12/3～2/2）	10	20
4. 灰塚川「千年の森」づくり	既存植樹地の下草刈り、清掃活動等（8/13～14）	50	35
	植樹体験会（苗木 150 本植樹）（3/25 午前）		15
合計		140	195

<p>事業効果</p>	<p>①灰塚川左岸（沼津市大平）の河畔に繁茂していた竹を、約 30m にわたり伐採するとともに、抜根を行い、土中のゴミを分別処理することができた。</p> <p>②抜根が完了した河畔には、被覆土を入れて整形することで、新たな植樹地を造成し、潜在自然植生の苗木 150 本を植樹することができた。</p> <p>③今後、これらの植樹木が成長し、新たな河畔林として成長することで、灰塚川の原風景である河畔林の再生が期待できる。</p> <p>④今回の灰塚川「千年の森」づくり事業の推進にあたっては、大平地区連合自治会の協力を取り付けることができた。当該地域の河畔林保全活動への参加者は、これまでは主に三島市側の市民が中心であり、沼津市側の市民の認知度や参加意識は、三島市側に比べればやや低かったが、今後は大平地区の住民を中心とした沼津市民の参加者の増加が期待できる。</p> <p>⑤また、本事業で実施した河畔林再生ワンデイチャレンジ、自然観察会（説明会、野鳥観察会、ボート上からの河畔林観察会）、植樹地造成工事、千年の森づくり活動（下草刈り、清掃活動、植樹体験等）には、沼津市民を中心に、延べ約 195 名が参加した。こうした一連の取組みにより、灰塚川の生態系の貴重性・重要性、植樹活動の意義について、とくに大平地区を中心とした沼津市民への理解の促進がより進んだと考えられる。あわせ、当該地における外来生物やゴミの投棄、竹害といった諸問題を今後とも沼津市民に意識してもらおう良き契機になったと考えられる。</p>
<p>今後の活動予定</p>	<p>今後は、まだ放置竹林箇所が多く残る、灰塚川左岸下流部の荒廃竹林の伐採作業、抜根作業、自然堤防造成を進めることで、新たな植樹地の増加を図る。また、今年度同様に自然観察会や体験植樹会などを開催し、より多くの沼津市民に参加を促す。このような継続的な活動の継続実施によって、灰塚川の認知度が高まり、地元市民等による自主的な河畔林保全活動への参加がより一層期待できる。</p> <p>さらに、今後の当事業の推進にあたっては、大平地区等の沼津市側の住民と、御園地区など三島市側の住民、及び地元企業、行政（沼津市、三島市、静岡県東部農林事務所等）との「地域協働」による展開が望まれ、これらの連携のための活動も行っていく。</p>
<p>自己評価</p>	<p>これまで三島市の住民を中心に進められてきた当該地の保全再生活動は、本事業からは沼津市住民を加えて実施することができるようになり、両市の市民参加による新たな「地域協働」の仕組みの基礎を構築することができた。</p> <p>今後はさらに沼津市等の行政の協力を得るとともに、これに企業からの協力もとりつけ、当該地域においてより重層的な活動を展開していきたい。</p>